

そうべつ議会だより



女性学級手芸講座の様子

■ 第1回定例会のあらまし	2
■ 予算審査特別委員会	4
■ 一般質問	15
■ 薫風	20

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

No. 69

■ 2018年5月 ■

定例会のあらまし

議案審議

役場組織改編！経済環境・商工観光・建設課の3課を統合し経済建設課に！

平成30年第1回定例会は、3月8日から16日までの9日間の会期で開催されました。5名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。町道路線の認定及び廃止についてのほか、議案21件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回臨時会

第1回臨時会は、2月1日に開催され、専決処分の承認についてのほか、議案1件を審議し、それぞれ可決しました。

平成29年度壮瞥町一般会計補正予算(第13号)について

580万円追加

4月の役場機構改正に伴い、情報館の防災設備の機能連携一体化に要する追加補正。

質疑

防災上の不安要素は。

答弁

本庁舎で防災担当者がすぐ対応できる体制になるため問題は無い。

第1回定例会

町道路線の認定及び廃止について

質疑

認定及び廃止の詳細は。

答弁

国道453号の蟠溪から大滝側の整備が終わったことから旧国道の敷地66m分が町道に移管されることとなった。距離が短いことや近くに町



久保内小学校冬季レクリエーションの様子

道があることから、新規の認定ではなく、既存町道を延長する認定を行うというもの。国道との重複部分は今までどおり国が管理することになる。

壮瞥町の組織改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

建設課・経済環境課・商工観光課を統合し、3課を経済建設課の1課とするもの。

質疑

課を統合することによって、職員数・経費の削減をどの程度見込んでいるのか。また、参事職を配置することにより指揮命令系統に問題は生じないか。

答弁

すぐに人員の削減につながるわけではないが、職員の適正配置計画に基づき、将来にわたって一定程度の職員削減に努めていく考えである。

参事職の配置については、平成29年度から一部先行して実施しており、特に問題は生じていない。今後、町の人口が減っていったときには、4つ程度の課の体制で運用したほうが命令系統的にはスムーズにいくと考えている。

平成30年 第1回

壮瞥町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

要支援・要介護にならないための予防事業は。

答弁

外出する機会が減る冬期間に転ばん塾を行い、話をする機会や体を動かす機会を設けている。

また、講演会の開催や、特定健診等では生活上の支援・改善が必要な方について保健師から指導を行う等の取組を行っている。

平成29年度壮瞥町一般会計補正予算(第15号)について

3億507万8千円減額

ふるさと納税特産品

550万円減額

質疑

平成29年度のふるさと納税の寄付額は。また、ふるさと納税の返戻品は何か人気なのか。今後寄付額を増やすため

の対策は。

答弁

2月末現在で約2850万円、昨年同期より数百万円単位で少ない。人気の返礼品は、①メロン、②りんご、③とうもろこし、④トマト、⑤特産品の詰め合わせが人気順となっている。

当町の財政運営上、重要な財源でもあるため、少しでも増えるように研究し、改善していきたい。



第1回定例会の様子

経営体育成支援事業補助金

540万円追加

質疑

事業の目的と効果は。また、

今回の補助金の内容は。

答弁

国の補助事業であり、目的は生産者の経営の安定化・規模拡大支援である。

今回2経営体が申請しており、30%が国の補助、全体の2分の1は金融機関からの融資を受けるという内容で、いずれも農業用のトラクターを購入するもの。

平成29年度壮瞥町一般会計補正予算(第16号)について

8898万6千円追加

立香地区頭首工災害復旧工事

8194万3千円追加

質疑

工期の予定は。また、農業者への影響は。

答弁

工期は30、31年の2力年を予定している。頭首工の下流側を工事するものであり、農業者の方に支障はないと考え

第2回臨時会

第2回臨時会は、3月29日に開催され、議案1件を審議し、可決しました。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議員報酬と特別職(町長・副町長・教育長)の給与を減額するもの。

特別職	減額前	減額後
町長	720,000円	648,000円
副町長	600,000円	570,000円
教育長	540,000円	523,000円

議会	減額前	減額後
議長	270,000円	257,000円
副議長	215,000円	204,000円
常任委員長	195,000円	185,000円
議会運営委員会	195,000円	185,000円
議員	179,000円	170,000円

38億5,700万円 1億6,700万円減

予算審査特別委員会

新年度から第5次行政改革を推進

■平成30年度壮瞥町各会計予算状況

区 分	30 年 度	29 年 度	増 減
一 般 会 計	3,857,000千円	4,024,000千円	△167,000千円
国民健康保険特別会計	513,900千円	494,500千円	19,400千円
後期高齢者医療特別会計	48,300千円	44,300千円	4,000千円
介護保険特別会計	348,900千円	345,500千円	3,400千円
簡易水道事業特別会計	223,600千円	183,400千円	40,200千円
集落排水事業特別会計	200,700千円	292,100千円	△91,400千円
合 計	5,192,400千円	5,383,800千円	△191,400千円

質疑
議会事務局は、議会の権限が十分発揮できるよう設置されるものであり、議員の専門的知識と執務能力と併せ、議会の円滑な運営や緊急的な対応のために必要な体制が求められる。

新年度から事務局の正職員を減員し、嘱託職員を配置することのだが、事務局として十分役割を果たせる体制かな。

一般会計
歳出
議会費
議会費
嘱託職員賃金
175万9千円



ケミヤルヴィ市長来庁

のか非常に疑問に思う。業務を行っていく中で、もし不都合があった場合はどうするか。

答弁

将来的な人口減に伴う職員数の減少を考慮した上での組織改編であり、事務局長1名

と嘱託職員1名の配置となるが、運用上は総務課から必要な支援をする体制とし、検証をしながら運用したいと考えている。

総務費
総務管理費
嘱託職員賃金
175万9千円

質疑

需用費削減は職員一人一人の意識や共通した取り組みが必要では。

答弁

5年間で10%削減と考えているが、職員の共通認識を深めていきたい。

第5次行政改革を推進
平成30年度予算総額51億9240万円を可決!!
第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「平成30年度壮瞥町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月14日から16日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、16日の本会議で可決しました。

一般会計予算総額は 前年比

防災行政無線のデジタル化推進



平成30年成人式の様子

題としてとらえている。

役場庁舎等維持管理経費

1318万6千円

質疑

光熱水費の多くは電気料だが、照明のLED化と新電力業者への乗り換えによる電気料の削減は考えているか。

答弁

庁舎内のLED化は検討しているが交換コストがかかるので有利な財源を研究したい。新電力業者の乗り換えは北電の対応も含め検討したい。

公用車運行管理経費

241万3千円

質疑

環境面を考慮し、電気自動車を購入することは考えていないのか。

答弁

電気自動車はまだ価格も高く耐用年数等で優位かどうか不明であり、購入するとの判断に至っていない。

無線放送施設経費

1211万7千円

質疑

防災行政無線がアナログからデジタルへ変わる内容は。

答弁

現在の防災行政無線は整備から17年が経過しており、アナログ機器類のため修繕できない状況にあることからデジタルへ更新するものである。Jアラートは平成31年度からデジタル受信するよう整備したいと考えている。

質疑

今後予想されるデジタル化の事業費は。

答弁

現段階では、1億円前後かかるものと予想している。

防災諸費一般経費

570万5千円

質疑

昨年、1市3町が実施した合同防災訓練の評価と今後の取り組みは。

答弁

評価としては、連携の取組を検証する意義があったと考えている。

今後の取組については、首長が指揮する際の対応の検討と情報共有を図っていきたい。

幡溪地区補償物件等 除却工事

350万円

質疑

幡溪地域の町づくりは地域と密着した取組が必要であると思うが、担当を置く考えは。

答弁

担当セクションを置いて取り組む考えはないが、地域の考えも伺いながら進めたい。

戸籍住民基本台帳費

292万円

質疑

マイナンバーカードの普及についてどのように考えているか。

質疑

道職員派遣は専門性を生かした業務にあたって頂いたが、平成29年度において専門性を必要とした案件は解決したのか。今後は職員の養成も必要ではないか。

質疑

道職員派遣交流負担金

20万円

技術職として複雑な業務に対応して頂いた。全て終わった訳ではないが残された部分は時間をかけて取り組みたい。

現職員体制の中で複雑な業務をこなせるかは未知数だが課

無料職業紹介所を開設

日本ハムファイターズ応援大使関連事業の実施

答弁

マイナンバーカードは平成29年度中に41枚交付し、昨日までに344枚を交付している。平成30年度も引き続き広報等でマイナンバーカードの周知を行いたい。

企画費

ジオパーク推進経費

378万7千円

質疑

ジオパークの再認定で、地球科学専門員の雇用を条件とする2年間の条件付きの認定が通知されたが、今後の取り組みは。

答弁

首長の連絡会議で検討、今すぐには判断はできないが、できるだけ早く対処したい。地球科学の専門員の雇用は人材難であり、さらに人件費もあり、文部科学省にも働きかけて財政支援の要望を含めて検討したい。

質疑

難しい面もあると思うが、専門員の雇用（採用）について

て壮瞥町が他市町に働きかけはどうか。

答弁

伊達市の縄文遺跡、壮瞥・洞爺湖町の火山、豊浦の遺跡とアイヌ文化を一つとして認定されたもので、1市3町の枠組みの中で考えたい。



日本ハムファイターズ表敬訪問の様子

**西いぶり広域連合
負担金（企画）**

41万2千円

質疑

定住自立圏構想の活動と課題は。

答弁

協定内容に基づき壮瞥町では平成30年度は5500万円程度の事業の中で取り組んでいる。

課題として、自治体の1対1の協定であるため認知度が上がっていないことである。

企画調整用務経費（消耗品費）

29万円

質疑

企画調整費でファイターズ関連費用が計上されているがその内容は。

答弁

消耗品費で29万円を計上、その内25万円で懸垂幕・横断幕・うちわの作成を予定。また北海道179市町村の日として試合でファイターズが勝利したとき壮瞥の特産品を贈る予算を計上。応援グッズの販売、応援ツアーも予定している。既以後援会も発足しており、また11月のシーズンオフに2選手が来町の予定。

**定住促進・まちづくり
推進事業**

1442万2千円

質疑

各種起業セミナー等負担金の内容は。

答弁

現在の協力隊員は、将来壮瞥町に定住する希望があり、起業のイメージとしてアウトドア関連、ウェブサイトの利用を考えており、そのための起業セミナー等の負担金で起業に向けた準備として計上するもの。

質疑

持ち屋住宅取得奨励交付金は売買だけの補助金か。解体に対する補助金は考えられないか。

答弁

基本的には利活用のための最小限の補助と考えている。平成27年に空き家特措法が制定されており、必要があれば条例の制定も考えられるが、今後の検討課題としたい。

社会福祉協議会が

脳ドック検診60名分で予算措置

胆振線代替バス運行維持費補助事業

598万円

質疑

胆振線代替バスの運行をどのように考えているか。基金の先細りが心配されるが。

答弁

年900万円の運行補助、7年毎にバスの入れ替えて4千万円の補助金の支出があり、基金は7年位で枯渇が想定される。

質疑

基金が枯渇したときの運行、また長く運行する方策は。

答弁

代替バスの運行は関係市町村が運行負担金を負担して運行。

既に枯渇した自治体もあるが平成25年度の調査に基づき7路線から3路線に変更し経費の削減に努力している。

基金が枯渇した自治体は一般会計から支出しているのが現状である。

民生費

社会福祉費

社会福祉協議会補助金

1362万3千円

質疑

社会福祉協議会に委託した、無料職業紹介所を立ち上げるのにあたって、行政としてどのような指導、アドバイスをするのか。

答弁

町としても初めての試みであり、実際に求人を受けた時や求職者に対する案内方法等のノウハウを持っているハローワークとの関係を密にしなから、また北海道労働局の指導を受けながら適正に運営できるように進めていきたい。

質疑

今現在問題点はないのか。

答弁

実際に求職と求人がどれくらいになるのか予測が立たないが、想定では年間50人程度とみているが、これを大幅に上回った時の対応が十分にで

きるかどうかの検証も必要と考えている。



健康づくり講演会の様子

衛生費

保健衛生費

井景共同墓地管理者調査委託料

126万円

質疑

関連の質問として、黄溪墓地は墓標も見当たらない状況であり、調査、整理が必要と思うがどうか。

また、滝之町共同墓地の分譲区画はどれくらい空いているのか。

答弁

黄溪墓地については、台帳があるので墓の所有者は把握しており、早急な整備や調査が必要とは考えていない。また、滝之町共同墓地の空き区画は29区画である。

脳ドック検診委託料

90万円

質疑

平成29年度の実績と新年度の内容は。

答弁

平成29年度の実績は65名、1人1万5千円で計97万5千円。平成30年度はこの実績を踏まえ60名で予算を計上している。

狂犬病予防注射接種業務委託料

3万1千円

質疑

犬の登録状況と、予防接種の状況は。

答弁

平成28年度の登録数は、1

ハウスの運営開始

害虫駆除を有料化、5月広報誌で周知

28頭、平成29年度は今現在で102頭の登録がある。予防注射の接種数は平成28年度で99件、平成29年度は今現在で86件である。

害虫駆除委託料

50万円

質疑

平成29年度の駆除の実績と、平成30年度から有料化を見込んだ予算額の根拠は。

答弁

平成29年度の実績は、スズメバチが92件、毒蛾が24件あった。

1回の駆除に8千円かかり、おおむね半分の4千円を受益者負担にする想定での予算計上である。

質疑

いつまでに町民の皆様には有料化の金額を知らせるのか。

答弁

害虫駆除は毎年度委託業者を選定して、見積もり合わせを行って金額が確定する為、今の段階では料金設定が出来

ないため、5月の広報誌で周知する予定である。

清掃費

資源ごみ回収委託料

1900万円

質疑

委託料を抑える為に、カレットびんやペットボトルの回収を毎週しなくてもよいと思うが、現状はどうなっているのか。

答弁

バラつきはあるが、毎週集めなければあふれてしまう自治会もあるので、現状は毎週集めている。

塵芥回収委託料

1500万円

質疑

生ごみをメルトタワーで処理すると420万円程度の費用アップが見込まれるとの試算が示されたが、これはあくまでも処理費の増であると思うが、回収費の増については試算していないのか。

答弁

回収の量は増えるが、回収の行程・回数は変わらないので、回収費のアップにはならないと考えている。

農林水産業費

農業費

一般農政事業

153万4千円

質疑

昨年まで一般農政事業で実施していた4補助事業（緑肥作物振興事業・廃プラスチック適正処理事業・GAP維持継続事業・強い農業づくり事業）を取りやめた経過は。

答弁

緑肥作物振興事業については、堆肥センターも稼働し、堆肥生産も安定してきたこともあり、緑肥の分を堆肥に振り替えるということを取りやめるもの。

廃プラスチック適正処理事業は、農業者、町、農協が3分の1ずつの負担で進めていたもので、長年進めてきたが、ごみ処分については、一般住

民や企業との公平の観点から、一旦区切りをつける意味で見送ったもの。

GAP維持継続事業は、優良農業の基準を示す認証制度で、生産工程管理に基づく品質保証を認証するものだが、JAとうや湖がグループ認証を進めており、平成28年、29年と財政支援を行ってきたが、新年度は見送った。これによって生産者が不都合になるということはない。

強い農業づくり事業はジャガイモ生産設備を3市町共同で設置し、施設が完成したものの。



農業研修シェアハウス内覧会の様子

農業研修シェア

緑肥作物の振興を見送り



シードルお披露目会の様子

質疑

緑肥作物の振興については長い歴史があり、土づくりの方法としては堆肥と緑肥があるが、目的は根本的に違うと思う。

緑肥には、表土の保全や土壌を柔らかくし短期輪作に適する等の役割があると思うが、農家の要望、情報収集をどのように分析し、なぜ緑肥事業をやめるとしたのか考えを伺う。

答弁

庁内の内部協議により、町の支援にも限界があることから、他の制度の活用も検討したが、緑肥作物の振興は、新年度は見送った。

農業研修シェアハウス 運営事業

176万7千円

質疑

農業研修シェアハウス建設工事は、平成28年度予算として、平成29年3月議会で議決され、繰越明許で平成29年度実施することになったが、その工期が平成29年11月6日から平成30年3月23日であり、なぜ秋から冬の時期を工期としたのか理由を伺う。

答弁

平成29年当初から執行できる状況ではあったが、農業者の意見を取り入れるため、担い手プロジェクトを立ち上げ、検討期間を設けたため11月3日の入札となったもの。

質疑

施設の管理をどのような形で運営していくのか。施設の自治会的組織立ち上げの考えは。

答弁

施設の総合管理は役場が行うことになるが、シェアハウスなので基本的管理は入居者が行うことになる。自治会組織については考えていないが、入居時に施設利用のルールを定めているのでそれを示す。入居者が気持ちよく利用できる施設にしたい。

町営牧場維持管理事業

410万9千円

質疑

第5次行政改革の中で、平成32年度を目処に2か所の牧場を1か所にするとしているが、平成29年度の利用実績は。

答弁

利用実績は上久保内牧場分で牛が7件の51頭、内訳は町内分5件の40頭、町外が2件の11頭となっている。立香牧場分は馬が町内1件の2頭、町外1件5頭となっている。

堆肥センター運営事業

2274万7千円

質疑

農家に堆肥の利活用を今後どのように具体的に呼びかけていくのか。

答弁

堆肥の利活用について3月中に農協を通じて各農家にファックス等で呼びかけを行うしていく。

質疑

現場の声を把握した上で、それに対応した販売の仕組みづくりをしつかりしていかねければならないと思うが、考え方は。

答弁

堆肥については、良いものができる状態になっているが、販売に関してはノウハウを持っていないため、今後に向けてどんな方法が良いのか模索していきたい。

農家との協議の場が少ないのではという指摘については、反省すべき点はあるが、土づくりの講習会等を通じて、農業者が主体となった勉強会組織を立ち上げてほしいと思っており、そのような機運が醸成されることを望んでいる。

質疑

販売の仕組みやシステムを作っていくために、農協の関

連携事業の継続実施

生ごみ系堆肥の生産中止を慎重に判断

わり方も含めて、出資者の声、現場の実態、実務者の声を聴いて、しっかりとプランを立てて農業者に示してもらいたい、考えはあるか。

答弁

運営に関わる組織については、関係者に改めて問いかけし、販売強化につながる組織の再編も視野に入れ検討したい。

質疑

生ごみ処理は環境と共生する地域循環の一環であり、中止には疑問があるが、考えを伺いたい。

答弁

生ごみ系堆肥の生産の中止については、今回の行革の項目になっており、最終的な結論は出ていないが、今後、慎重に協議を進めて判断していく。

新規就農支援対策事業

393万円2千円

質疑

平成29年度に担い手プロジェクト会議を立ち上げ活動し

てきたと思うが、1年を通しての成果と感想について、また、今後の定住対策事業との情報共有や情報発信と連携した取り組みを進める考えは。

答弁

札幌、大阪、東京の就農フェアに出店し、呼びかけやPR活動を行った。成果については、まだ判断できるところまではいかないが、参加メンバーの意見として継続すべきという意見があった。

農業人フェアの来場者には、町の取り組みや農業の現場の説明をしたことで、町内への就農希望者もあつたことから、息の長い取り組みとして進めていきたい。

有害鳥獣関係

340万9千円

質疑

有害鳥獣駆除協力謝金について前年と比べて減額になっているが、他町ではエゾシカ被害は増えていると思うが、本町の実態は。

答弁

エゾシカの捕獲実績は平成29年度、今現在で152頭、平成28年度は185頭、平成27年度は193頭となっており、新年度は実績に合わせて予算化した。



雪合戦30周年記念式典の様子

氷産業費

50万円

質疑

洞爺湖町、洞爺湖漁協、壮瞥町で総額150万円の予算で事業実施されるが、平成30年度の事業内容について伺いたい。

答弁

平成28年度から平成30年度

商工費

商工費

商工振興一般

202万3千円

質疑

特産品開発支援事業の内容と農商工連携事業の内容、道の駅テイクアウトコーナー検討事業の新年度事業の内容は。

答弁

特産品開発支援事業の内容は、飲料開発の取組とフルーツカット販売のための機械導入の2件の要望があつたもの。農商工連携事業の内容は、リンゴワイン開発の要望があつたもの。

テイクアウトコーナー検討事業については、広告宣伝に

特産品開発支援事業・農商工

中島1号線道路改良を継続実施

係る財政支援を予定している。

質疑

農商工連携事業については、地元の農業者が生産したものを地元で加工し、地元の商業者が販売していくということが必要では。

答弁

現在、23件の参加者があり、商品開発のために、農業者や商工業者が同じ席で議論を重ねることで、これまで接点のなかった人たちが商品づくりにチャレンジしており、そのような場の提供も一つの成果と思っている。

観光振興一般

269万円

質疑

北海道登別洞爺広域観光圏協議会の事業内容は。

答弁

事業内容は、東北圏や首都圏の学校への修学旅行誘致の 프로모ーション活動、海外への 프로모ーション活動、インバウンド旅行者対策事業等の

実施や広域用パンフレット作製事業をおこなっている。

登別、洞爺の2大観光地が連携して様々なPR活動を行うことで効果が高く、高い評価も受けているので、今後もPR効果の高い事業を展開していきたい。



久保内小学校入学式の様子

特定非営利活動法人そ うべつ観光協会事業

1677万6千円

質疑

特定非営利活動法人そうべつ観光協会事業の管理費について、職員人件費が大きく増えているがその内容について伺う。

答弁

職員人件費については昨年

から相談を受けていたが、人件費が低く抑えられていた実態があり、今回、給与体系の見直しを行い、待遇改善をしていくということで予算化したもの。

質疑

補助金全体の中で人件費のアップ幅があまりにも大きい。職員の適正配置も含め、必要な人員と人件費について協会と協議すべきでは。

答弁

観光協会の補助金はほとんどが人件費に反映される予算である。協会の総会が5月に開催される前に一定の協議を進めて調整したい。

土木費

道路橋梁費

道路橋梁維持経費

7465万9千円

道路新設改良費

1億9847万7千円

質疑

除雪経費の現状と、町道路

面の補修と橋梁改修の計画内容について。また、中島1号線の改良工事は、交付金の額によって進捗状況が変わると理解して良いのか。

答弁

除雪については当初1800時間で計上していたが、1月中旬以降降雪が増え、2月末で1650時間となっており、3月の状況を見ると追加補正しなければと考えている。

町道路面補修では滝之町下立香線のオーバレイを予算化しているが、他路線の傷みも予想されており、予算内で対応できればと考えている。

中島1号線の改良工事については、平成29年度は予算要求額の3分の1程度の交付だったため、新年度もそうなる予想で用地取得を先行して進めていく。

住宅費

公営住宅等整備事業

1億8914万3千円

質疑

仲洞爺団地建て替えによって住宅料は上がるのか。

最優先に議論を継続

フィンランド交流事業の継続について検討

年 度	壮瞥小学校	久保内小学校	壮瞥中学校
平成30年度	108人	6人	59人
平成31年度	98人	5人	67人
平成32年度	93人	6人	70人
平成33年度	87人	8人	68人
平成34年度	81人	9人	57人

答弁

資産価値が上がるため、住宅料は上がる。

教育費

✖ **教育総務費**

質疑

児童生徒の今後の動向は。

答弁

平成30年度から平成34年度までの児童生徒数は次のとおりと見込んでいる。

✖ **小学校費**

小学校費

3169万3千円

質疑

学校適正配置方針で、久保内小学校はできる限り存続させるとされているが、子ども達の教育環境を最優先に議論するべきであり、今後も教育委員会として議論を継続すべきと考えるが。

答弁

指導体制に課題があるが、少人数を生かした教育を実践していること、中学校統合をしたばかりで、地域活力の低下が強く懸念され、教育委員会でも無視できないと判断した。統合を選択した場合は、実効性のある地域づくりの体制づくりが必要と考える。存続を選択した場合は、山村留学等の導入が必要と考える。今後も、保護者、地域住民と協議し、望ましい教育環境を念頭に判断していきたい。

✖ **高等学校費**

高等学校費

3450万8千円

質疑

高校運営に係る実質の経費はいくらか。

答弁

平成28年度で普通交付税1億1600万円、農産物売払代を併せて1億2700万円の歳入で、教員給与等では、事務職1名、実習助手2名の人件費を除き、歳出1億3400万円程度で、約650万円の持ち出しとなっている。



壮瞥中学校スキー教室の様子

質疑

高校を核にしたまちづくりを進めている町があるが、本町においても、そのような町と高校の関係を築く考えはあるか。

答弁

学科転換後、卒業生30名程度が、農業食品関係の仕事に就き、また、町内事業所に3名が就職している。このように新しい定住人口に繋がっていくことを目標としていて、学校運営協議会委員の力を借りて、子ども達の成長に生かしながら、就職に結びつけていく仕組みづくりを町の施策と連携し、発展させていきたい。

✖ **国際交流費**

中学生フィンランド国派遣（海外研修）事業

1308万4千円

質疑

フィンランド派遣事業について、平成32年度であり方を見直すとなっているが、今後この交流をどのように考えているか。

子ども達の教育環境を

行政改革の一環として役場6課を4課に

答弁

フィンランドとの交流事業は続けたいが、継続派遣の方法のあり方と併せ、検討しながら考えたい。

保健体育費

社会体育推進事業

675万2千円

質疑

行政改革の実施計画で、オフロスキー場が平成32年度で廃止とされているが、学校からの意見はどうなっているのか。

答弁

学校のスキー授業、町のスキー教室や近隣のスキー団体によるスキー教室等を通じて体力向上、健康増進に寄与していることは学校現場も認めており、教育委員会としては、このことを踏まえ、行政改革の議論を見ながら検討協議をしていかなければならないと考えている。

歳

入

生産物売払収入

740万円

質疑

平成29年度の堆肥の売払代について、当初の見込み960万円に対し、最終的には600万円程度となるようだが、減額になった要因はなにか。

答弁

予算はバラ堆肥600t、袋堆肥1万袋で予算を設定。平成27年度から製造の改善も



女性学級健康講座の様子

あり、良質な堆肥も確保できることから販売量600t、売払代960万円に目標を設定したが、販売量が思うように伸びなく、販売量480t、売払代600万円の見込みで差が開いた。

質疑

計画が達成できないのであれば堆肥センターの管理運営費の歳出を改め、更に歳入、歳出のバランスを考えてほしい。

答弁

新年度予算では、バラ堆肥600t、袋詰めは6500袋で740万円の予算を計上した。
歳入、歳出のバランスについても歳出の経費を抑える努力をしながら進めたい。

全体について

質疑

行政改革の一貫で現行の6課体制を4課にすることについて、少人数の課の配置を止めて、複数の業務を複数の参事及び職員が対応するという

ことになるのか。いわば、組織の縦割りを横割りにするという理解でいいのか。

答弁

将来の人口減を見据え、職員数を減らし、事務の効率化を図る体制の準備を進める必要がある。

商工観光課でいえば本庁舎に居る方が事務の連絡調整面等から効率的であり、今回経済建設課で3課を1課にまとめた。

複数の職員が同一業務に関わっていれば、仮に一人が長期に休んだり、異動となっても対応が可能となる。また、年数はかかるが課長職を減らし課長補佐等でカバーしていく体制を作りたい。

特別会計

介護保険特別会計

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費

767万4千円

質疑

地域包括支援センターで新

上下水道料金の値上げを検討

地域包括ケアシステムを推進

年度に職員を一人採用募集しているがどのような業務を行うのか。

答弁

地域包括支援センターが平成29年度から直営となり、総合相談や訪問などの実績は、平成29年2月末が550件、平成30年2月末は863件と300件増え、嘱託職員を採用して業務増に対応できる体制としたい。

質疑

第7期介護保険計画の地域包括システム推進はどのような内容か。

答弁

第7期（平成30年～平成32年）介護保険計画は介護保険料を決定し、また、計画期間内の取組について計画している。地域包括ケアシステムの推進については、認知症施策の推進、医療介護の推進、生活支援施策の推進、高齢者の方が住み慣れた地域で暮らして行ける体制の構築に臨みたいと考えている。

簡易水道事業特別会計

使用料

4640万円

質疑

第5次行政改革で、上下水道料について、平成30年度以降段階的に引き上げが必要と記されているが、どのように進めるのか。

答弁

上下水道の料金の改定は、過去の決算、今後必要となる大きな事業、起債の償還等を試算しながら検討されており、料金改定が必要な場合は、前提となる特別会計の財政状況や将来見通しを含め町民に丁寧な説明を行った上で必要な手続きを進める。

集落排水事業特別会計

集落排水施設管理費

5233万9千円

質疑

集落排水事業と合併浄化槽の普及状況と課題はなにか。



道道東湖畔トンネル工事見学会の様子

答弁

集落排水事業区域での普及率は91%、合併浄化槽の対象区域での普及率は63%となっている。

課題としては、設備の老朽化の問題を解決する具体的な仕組みづくりであると考えている。

質疑

仲洞爺地区の施設機能強化及び合併浄化槽への変更について平成30年度より検討するということだが、その内容について伺いたい。

答弁

仲洞爺の集落排水は真空ポンプを使って処理しており、将来的な財政負担と利用者の利便性を考えながら、現状の機能強化を進める前段として、合併浄化槽に切替えた場合の諸問題や工事費等も検討を加えながらシステムの継続と機能強化に取組みたいと考えている。



工事発注状況

平成29年12月から
平成30年2月までの発注分

() 内は予定価格

- 道道洞爺公園洞爺線水道施設移設工事
1,620,000円(1,684,800円)
道栄建設(株)
- 山手2号橋補修工事
18,360,000円(18,943,200円)
道栄建設(株)



いっぱん質問 Q & A



壮瞥中学校卒業式

【壮瞥町の将来ビジョンと地域政策について】

Q 壮瞥町の明確な将来ビジョンを示すべき

A 行政改革を実行し将来に期待を持てる町政運営を行いたい



長内 伸一

議員
町長は第5次行政改革実施計画案と第2期定住促進・公共施設有効活用計画案を町政懇談会で町民に示し機構改革や公共施設の統廃合と歳出の削減案に対し理解を求めました。
しかし、懇談会において財政の厳しさばかりが語られ政策理

念に基づいた将来ビジョンが示されませんでした。厳しい行政改革の実行は町民の理解と協力が欠かせず、それは住む地域の将来への夢と期待へ繋がるためでなければならぬが、二期最終年を迎えた町長の具体的な取り組みを伺いたい。

町長

今回の町政懇談会は計画案を町民に丁寧な説明と意見を拝聴する目的から私の地域づくりの考えにあえて言及しなかった。現下の状況では将来にわたり、町民全体としての生活インフラ更新や優先順位をつけていかざるを得ず、プランの具体化には財政的裏付けの確保が必須であり行政改革による財政健全化は避けて通れず、高く飛ぶためには一度かがむことも必要と考える。今後は積極的な産業振興による自主財源確保に取り組み、

町民が本町の将来に夢や期待を持てるような町政運営を行っていきたい。

議員

町政懇談会は町の可能性や将来像を町民に語りかける機会とすべきで第5次行政改革の説明に終始したことは、ともすれば壮瞥町の魅力を生かし切れず縮小と暗い未来を想像し先細りの町の印象を与えたのではないか。

町長

町長就任以来歴史を持つ壮瞥町をいつまでも継続していけるように努力してきた。私は常に町づくりは町民が行政と協力し合うものと思っている。今後は地域住民と地域づくりを検討する場を設けたい。

議員

将来の地域目標を掲げそのために行政改革が必要というメッセージが大切に行政改革が目標になっているのではないか。行政改革が地域住民の諦めのきつかけに繋がってはいけなと思う。町長は住民共同の町づくりと言うがたとえばオロフレスキー場が平成32年閉鎖に向けて

の検討を始めると町広報や懇談会で説明があったことに不安視する声を聴くが出資者や地域・関係機関と十分協議してのことか。

副町長

今後のスキー場の大規模修繕への対応を検討してきたが、その中で目標設定が必要とのことと案として示したが各方面からも意見を頂いた。オロフレリゾートの役員会でいまず大規模修繕が発生するか検討をした上で提案し、使えるうちは使つことも含め、検討したい。

議員

ひとつの提案として「若者を呼び込む」を合い言葉に見える形で定住政策を打ち出してはどうか。都会で若者の田園回帰現象が起きているが、地域おこし協力隊の制度も活用し各分野や地域の連携で若くポテンシャルのある若者を呼び込む取り組みをしてはどうか。

総務課参事

若者世代に向けた情報発信を行っているが、次年度首都圏の若者世代向けの「移住体験ツアー」を企画しており協力隊員を母体に移住相談コンシェルジュ等を検討したい。

【農業の担い手の現状と取り組みについて】

Q 農業の担い手の現状と取り組みは

A 雇用就農にて取り組む



高井 一英

議員

最近の新規就農と継承後継者の状況について。

町長

新規就農された方は平成26年度に2名であり、現在も施設栽培を中心に営農を続けている。就農後継者は、平成24年度1名、平成25年度3名、平成26年度1名、平成27年度1名が親元就農している。さらに、現在、就農研修を受けている後継者が1名おり、平成30年度の就農を目指している。

議員

今年取り組んだ農業人フェアの進捗状況について。



YFC総会の様子

町長

今年、初めて農業人フェアに参加して、壮瞥町が進めている雇用就農について、情報提供を行った。昨年11月の札幌会場は630名、今年1月の大阪会場は598名、2月の東京会場は1006名で、そのうち壮瞥町

のブースを訪れ、話を聞きに来た方は、札幌会場は9名、大阪会場は6名、東京会場は8名という結果だった。ブースを訪れた方々には、壮瞥町の紹介をはじめ、今、壮瞥町が進めている雇用就農の取り組みや、求人情報、居住場所としてのシェアハウスの整備などについて情報提供を行った。

議員

農業研修シェアハウスを活用した雇用就農の推進について。

町長

今年度整備を進めている農業研修シェアハウスについて、農業人フェアにおいても、シェアハウスについてのPRを行った。農業を目指す方にとって、住居はとても気になるところのようであり、壮瞥町のシェアハウスは、多くの方の興味・関心をひいたようである。現在、すでに2名から入居の申し出があり、

4月からの利用に向けて準備を進めている。

議員

現状の規模では雇用に取り組めない農業者の継承を図るため、就農希望者が農業の技術と経営を実践する研修農場に取り組む考えは。

町長

本町では雇用を軸とした就農を進めているが、基本は、就農者にとっても、雇用側にとっても、できるだけリスクが少ない営農形態とすることを第一に考えている。研修農場を実現できればとても素晴らしいことだと思いが、場所の問題や、何よりも研修後の農地の確保を考えると、かなりのリスクが伴うことが想定される。雇用に取り組めない農業者の承継については、営農を拡大したいと考えている農業者もあり、農地の売買や賃貸などで集積、集約をはかっていると考えている。

「壮警町永住者表彰制度のあり方について」

Q 年齢70歳以上在町50年以上の表彰は継続すべき

A 近隣町との比較では表彰式参加者が少なく、事務量の軽減から廃止



佐藤 亮

議員 この対象者の表彰にかかる町費はいかほどか。

総務課参事

6万円から7万円程度。削減効果は決して大きいものではないが、行政事務の増えていく中で見直しを進める。

議員

第1回定例会で平成30年度町政執行方針を表明したが、第5次行政改革案を中心にして、2月6日から14日まで町内5会場で町政懇談会を開催、出席者数・実施計画案に対して出された意見に対しての説明で理解されなかった事項はなかったか。

町長

町政懇談会で第5次行政改革計画案と第2期定住促進公共施設有効活用計画案を説明し、計画案や町政全般、地域課題の意見を中心に開催。参加者は5会場に延べ68名。

出された意見は、計画案に位置づけた個々の取り組みの是非に関わるもの、実施までの取り組み方に対する多岐にわたる意見。

計画案に対する理解は、それぞれ受け止め方は様々と考ええるが、理解いただけたと考える。

議員

平成30年度の町政執行方針で行革で取り組む中で、出された意見を参酌して取り組む事項は。

町長

出された意見は現在庁内で精査中で、懇談会の意見を踏まえた計画案の見直しは現段階では未定。

議員

懇談会で示した実施年度「永住功労者表彰の平成31年度廃止が平成30年度で廃止の理由は」。

総務課参事

廃止に至った理由は、近隣の町との比較。表彰式に受賞者の出席者が少ない。また事務量の軽減、事務事業の見直しから現状を見る限り続けていくことの意義が薄れていることから。

議員

永住者の表彰は昭和53年11月から始まった壮警町独特の制度であるが、町長はこの制度についてどのように認識しているか。

町長

永年壮警に住んでこられたご尽力いただいた方々への表彰と認識している。

表彰を受ける方が、この表彰をどのように考えを持って受けているか、また毎年表彰式に出席する方が少ないことも廃止の理由の一つ。

本当にいただきたいと考えているのか。このことから廃止してもよいのではないか。

総務課参事

平成30年度の方針で示しているが最終的にはまだ決まっていない。今後制度の高い内容周知を新年度改めて示したい。



建部自治会町政懇談会の様子

「特別職の給与改定について」

Q 特別職の給与改定の考えについて

A 行革推進のために自身の給与減額を

議員

町長は懇談会の中で、行革を進めるために身を切る覚悟で給与の減額を述べているが。

町長

行政改革を私自身が責任を持って進めていくので、私自身の給与の減額を考えており、身を切る考えは変わらない。

副町長・教育長・議員・職員については考えていない。

質問

Q & A

【農業の高齢化に対する農業振興策について】

Q 梅を活かした観光地と産地化を進める考えは

A 活用可能であれば検討したい



森 太郎

確保や、労力のかからない施設園芸に転換していくことも必要。

議員 農業所得向上に向けての具体的振興策は。

町長

本町の経営耕地面積は道内平均と比べ、狭小規模となっており、経営規模の拡大や施設園芸への切り替え等で農業所得向上を図る。

議員

地域資源として活用可能な新

議員 これまで進めてきた農業振興策の効果をどのように認識しているか。

町長

温暖な気候や地域資源を活かし、稲作、畑作、果樹、施設園芸等、多様な農業経営を展開し、儲かる農業の実現に取り組んできた。経営基盤強化ではハウス整備、機械導入支援、堆肥の利用促進、新規就農や農業後継者対策を進めてきたことが経営改善につながっている。

議員

高齢農業者の実態と今後の見通しと具体的対応策は。

町長

2015年農業センサスでは

議員 高齢農業者に対する農業施策の必要性と収入確保の方策は。

町長

高齢化により縮小や離農を考えている農業者から、経営を拡大したい農業者への農地の集積を図り町全体の農業振興を図ることが必要。収入確保策として農地の売買、賃貸による収入の



壮瞥公園の梅

たな振興作物開発の取り組みは。

町長

本町農業は稲作から畑作、果樹栽培、施設野菜等で安定的所得確保が図られている。特産品として開発中のシードルの原料確保のための加工用リンゴを新たな振興作物として加えることを検討中である。

議員

加工用リンゴを振興作物として検討することには疑問がある。提案として町内農家の庭先に植えられている梅が有望でないかと思う。町内に植栽されている梅のほとんどが豊後梅という種類で実梅として農家では昔から梅漬け等に加工されている。又壮瞥公園の梅は、道内でも有数の観梅スポットとしても知られており、梅栽培を町内全域に広げ、農家が将来の所得確保の手段としての栽培振興があっても良いのではないか。

経済環境課長

梅が活用可能であれば、今後の動向を見ながら検討したい。

【将来に向けた行財政運営について】

Q 第5次行政改革推進について

A 将来に向けて安定的な財政運営を



加藤 正志

【議員】 話し平成30年度中に整理していきたい。

【議員】 平成35年度以降さらに公共施設投資などが考えられ基金残高がさらに減少していく可能性があればどのような影響が考えられるか。

副町長

ここ2年財政調整基金の繰り入れがあり、また噴火災害・自然災害などの対応も考慮しなくてはならない。

今後基金が減少することによる財政再生団体、そのひとつ前の財政健全化団体の指定にされないように有利な方策を用いて運営していきたい。

第5次行政改革を進めても5年後絶対安心とは言えず、少なくとも未来に向け行政改革を進め運営していきたい。

議員

今後の財政計画目標で

- ① 町債残高の減少
 - ② 基金の積み増し
 - ③ 財政指標の向上
- などが必要ではないかと思うが、将来の財政の受け止め方は、

【議員】 財源なくして行政運営は成り立たない中、第4次行政改革で歳出削減に取り組んだ実績は。また今後5か年で3億円（平均6000万）を改善目標とした根拠は。

総務課参事

平成18～22年度に行われた行政改革目標額7・5億円に対し、実績は10・2億円と大幅に目標を上回る収支改善効果を生んだ。目標額を計画策定前は年平均1億円、計5億円を目標としていた。作業段階において、厳しい財政状況を町民に理解していただく、大幅な縮減に踏み込んだ場合理解が得られないと考え、目標額を下方修正した。

議員

歳出削減に向けて、時間外勤務手当・委員等報酬の見直し・施設の整理合理化（統廃合）・

総務課参事

歳入歳出の分母が大きい時の方が削減しやすい。早い段階で取捨選択し削減を図り、実施計画の中で前倒しできるものがあるれば柔軟に対応したい。

議員

毎年財政調整基金の取り崩しが予想されるが、特定目的基金の運用も必要と思うが取り扱いと条例改正の考えは。

総務課参事

今ある庁舎建設基金など統合し、公共施設の整備に充てることを目的とした基金の創設も検討

総務課参事

町債残高は平成29年度末見込み一般会計で38億6000万円。公債費の元金償還額の70%程度に地方債の発行を抑え町債残高の減少に努めている。現状の積み増しは難しく将来に向け安定的な財政運営に努めたい。

当町の経常収支比率は平成28年度90・5%と高く自由に使えるお金がない状況。

実質公債比率は12・2%と早期健全化基準の25%は大きく下回っているが数年は同じような数値で推移するものと考えている。

5年後には基金が半減するという非常に厳しい状況で、第5次行革を推進し基金を残していくよう努めたい。



連合自治会研修会の様子

薫風

「風の人、土の人」

故郷に思いをはせる

子どもたちを育む

壮瞥町教育委員会生涯学習課

永堀善之



私の出身地は、釧路管内の厚岸町という町です。壮瞥町と同様、農林水産業や観光を主産業とする自然豊かな町であり、常に私の心の拠り所となっています。

す。何にも縛られることのない生活が出来るのであれば、明日にでも帰郷し、生活したいと思える町です。15歳で離れた故郷に、どうして今こんなにも惹かれるのか、私なりに少し考えてみました。

壮瞥に来てから、あるワークショップに参加した時のこと。グループワークのお題は、『壮瞥町の良さについて意見を出し合う』というものでした。私なりに感じている町の良さについて話をする、長く壮瞥に住んでいる方々からは、「ずっと住んでい

るとわからない」とか「良いところなんてあるかな？」という声が聞かれました。すぐに思い浮かばないほど、町の良さが当たり前のことになっているからなのか、率直な感想であったのか、判断できませんが、いずれにせよ、町の「土壌」を醸成するのは、地域に根を張り、生活の軸足をこの地に置く人たちが『土の人』であると思います。土の人には、自分達が住む町の良さを未来の担い手である子どもたちには生き生きと語って欲しい。私自身、子どもの頃を振り返ってみると、自分を取り巻く大人は皆、生活は大変だと言いつつも、町に誇りを持ち、町を好きでいたように思います。大人が自信を持って町のことを語れば、子どもたちが仮にこの地を離れても、この地に思いをはせる人になってくれるはずです。

一方、ある期間その地に身を置き、新たな風を吹かせ、やがて離れていく人は『風の人』です。土の人とは別の視点で町の良さを伝え、ただ風を吹かせるだけではなく、新しい種を風に乗せ、土に時く役割もあるでしょうが、この3年間でそれが十分できたのかと問われると、心から「できた」と言える自信はありません。ただし、担当した事業等を通じて、風の人として壮瞥町の素晴らしさを伝えることは少しだけできたのではないかと思います。

『故郷に思いをはせる子どもたちを育む』という風土が、風の人・土の人の協働により着実に根付き、それがより良い町づくりに繋がっていくことを心から願っています。

3年間、本当にありがとうございました。

編集後記

桜の開花も始まり、北海道でもいよいよ春本番を迎えようとしておりますが、皆様は何回目の春を迎えられたでしょうか。

壮瞥町では第5次となる『行政改革実施計画』が発表されました。

久保内出張所、青少年会館、町有地活用事業の廃止、蟠溪ふれあいセンター、研修センターの運用改正、堆肥センターでの生ゴミ堆肥製造廃止、立香ふれあいセンターの廃止転用、オロフレスキー場の存廃検討、上下水道料金の見直し等々、町にとっても、住民にとっても痛みと負担を伴う改正内容が載っておりますが、逆に、今こそ町長の言っている『協働のまちづくり』に向けて、住民参加により議論を深めていって、未来の壮瞥町を築いていく好機だと思います。

2045年、壮瞥町の人口は1600人台となる推計が、国立社会保障・人口問題研究所から公表されました。仮に、本当にそうだったとしても、町民全員が幸せ感到満ち、助け合い、この地に住み続けられる町であってほしい。

(M・M)